



JUNSEI

製品安全データシート

1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (特級) ピロール Pyrrole
整理番号 60330
作成日 2000年7月18日
改訂日 2010年6月14日

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-4-16
連絡先及び緊急連絡先(MSDS作成担当)
担当部門 営業本部 学術担当
担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1-6
電話番号 048-988-3621 FAX番号 048-988-8719
E-mail: shiyaku-t@junsei.co.jp
<http://www.junsei.co.jp>

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

分類の名称: 引火性液体類。

危険性

引火性液体[引火点: 39 (密閉)]

酸化剤と激しく反応する。

有害性

急性経口毒性はそれほど強くないが、蓄積による毒性が認められる。

呼吸器、循環系統、肝臓等に委譲の人はピロールに曝されるべきではない。

皮膚の接触も避けるべきである。

空気中で加熱されると更に毒性の強いガスを発生するので注意する。

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 単一製品

化学名: ピロール

化学式: C₄H₅N

CAS No: 109 - 97 - 7

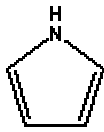
EINECS No: 203-724-7

含有量: 98.0%

化審法: 5 - 100

安衛法: 公表

構造式



4, 応急措置

吸入した場合:新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

皮膚に付着した場合:汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。

眼に入った場合:先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。

飲み込んだ場合:意識あるなら、口をすすぎ、2 - 4杯の牛乳か水を与える。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

5, 火災時の措置

消火剤

粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性:

特有の消火方法:データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具:防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。
- 作業場を換気する。
- 作業中は飲食、喫煙をしない。
- 強酸化剤との接触に注意する。

保管

- 火気厳禁。
- 密栓して換気のよい冷暗所に保管する。
- 強酸化剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気:換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

管理濃度(労働安全衛生法):設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2008年度):設定されていない

ACGIH(2007年):設定されていない

設備対策

局所排気装置

保護具

- 有機ガス、送気マスク、空気呼吸器等。
- 不浸透性保護手袋。
- 安全ゴーグル。
- 不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観:無色透明液体

臭い:特色のある臭気

pH: データなし

融点: -24

沸点: 130 ~ 131

引火点: 39

爆発範囲の上限・下限: データなし

蒸気圧: 8.35 mmHg

蒸気密度: データなし

比重: 0.9691 (20 / 4)

溶解度: 水に不溶

n-オクタノール/水分配係数: データなし

自然発火温度: データなし

分解温度: データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性: 常温常圧で安定

避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など): データなし

混触不可物質: 強い酸化剤

危険な分解生成物:

危険な重合反応: しない

11, 有害性情報

腹腔 マウス LD50: 98mg/kg

皮下 マウス LD50:61mg/kg

経口 うさぎ LDLo:147mg/kg

全身的にも局所的にも低毒性である。

動物に注射すると尿の褪色が起こる。

イヌに大量を腹腔注射すると痙攣と肝障害を引き起こすといわれるが、他の経路による投与では起こらない。

皮膚腐食性:なし。

刺激性(皮膚,眼):なし。

感作性:なし。

急性毒性

亜急性毒性:知見なし。

慢性毒性:蓄積により毒性が認められる。

がん原性:知見なし。

変異原性(微生物,染色体異常):知見なし。

生殖毒性:知見なし。

催奇形性:知見なし。

その他(水と反応して有害なガスを発生する等を含む):なし

12, 環境影響情報

- 生態毒性

水性環境急性有害性

データなし

水性環境慢性有害性

データなし

(化審法既存化学物質の安全性点検) 昭和 54 年 12 月 20 日

- 分解性:良分解性

- 蓄積性:濃縮性がない又は低いと判断される化学物質

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号:1993

品名:(Flammable liquid, n.o.s.)

国連分類:3 (引火性液体)

容器等級:

海洋汚染物質:非該当

緊急時応急措置指針番号:128

15, 適用法令

消防法: 第4類第2石油類

毒劇法: 非該当

P R T R法: 非該当

労働安全衛生法: 安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号): 非該当

16, その他の情報

参考文献

- メルクインデックス14版 8014
- STN国際ショナル RTECS ファイル AQUIRE ファイル
- 危険物船舶運送及び貯蔵規則(十四訂版)国土交通省海事局検査測度課(海文堂)
- 改訂第3版 緊急時応急措置指針(日本規格協会)
- 製品安全データシートの作成指針(改訂第2版)((社)日本化学工業協会)
- 化学物質総合情報提供システム(CHRIP)(NITE) <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。また、記載物性値は文献値であり、規格値ではありません。全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。